

当院で心臓手術を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はありません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2021年9月～2026年3月の間に、心臓大血管手術を受けられた方で肺動脈カテーテルを留置された方

【研究課題名】心臓手術時の肺動脈カテーテルを活用した右室一肺動脈カップリング値の測定とその推移の妥当性の検討

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 麻酔科 医師 伊藤 芳彰

【研究の目的・意義】

重症敗血症患者では「非効率な」心拍出が強制されることによって、その臨床的制御に難渋することが多くあります。本申請研究が確立する手法により、心臓のエネルギー効率と末梢組織の酸素消費のバランス調整を基盤とした循環制御が可能となり、重症敗血症患者の予後改善につながる循環管理戦略が確立できる可能性があります。

肺動脈カテーテルを留置している心臓手術患者を対象とし、右室一肺動脈カップリング値の測定方法を確立し、その推移の妥当性を明らかにすることを目的としています。

【利用する診療情報等】

年齢・性別・身長・体重・病名・術式

肺動脈カテーテルによって記録された圧波形

3D 経食道心エコー（専用のソフトで心臓の右心機能を解析）

上記のデータを記録している際の心拍数、体血圧、中心静脈圧

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【研究の実施体制】

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 麻酔科 医師 伊藤 芳彰

共同研究機関・研究責任者

1. 久留米大学 バイオ統計センター 准教授 大山 哲司

【外部機関への情報等の提供】

この研究で収集した情報を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は削除し、個人が直接特定できないようにします。

提供方法：セキュリティ付きのUSBで直接手渡し

【研究期間】研究許可日より2028年3月31日まで（予定）

情報の利用・提供を開始する予定日：2026年4月6日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 麻酔科 医師 伊藤 芳彰

電話：06-6170-1070（代表）